

## 平成16年度学会発表・講演等一覧

### [企画部]

第33回国土地理院技術研究発表会 平成16年6月3日 新宿安田生命ホール(東京都新宿区)

- ・国土地理院のコア・コンピテンスの強化 : 松村正一

### [測地部]

地球惑星科学関連学会2004年合同大会 平成16年5月9日~13日 幕張メッセ国際会議場(千葉市)

- ・変動帯における測地基準系の維持管理について - セミ・ダイナミック測地系の検討 - : 辻宏道・田中愛幸・石本正芳・畑中雄樹・小牧和雄
- ・国土地理院における測地 VLBI 観測の次世代化: 高島和宏・辻宏道・町田守人・和田弘人・栗原忍・堤隆司・石本正芳
- ・セミ・ダイナミック測地系の評価について: 田中愛幸・都筑三千夫・横川薫・田上節雄・齋藤郁雄・住谷勝樹・石本正芳・杉原和久・辻宏道
- ・国土地理院の測地 VLBI 観測とその解析: 栗原忍・高島和宏・和田弘人・町田守人・石本正芳・堤隆司
- ・地磁気連続観測データを用いた日本周辺域の地磁気モデルの構築( ): 白井宏樹・紀小麗・渡邊政幸・何金蘭・中川弘之・宇津木充(京都大学)

第33回国土地理院技術研究発表会 平成16年6月3日 新宿安田生命ホール(東京都新宿区)

- ・ダイナミックな測地基準点体系の実現に向けて: 辻宏道
- アジア - オセアニア地球科学協会第1回年次総会(AOGS(Asia Oceania Geosciences Society)1st Annual Meeting) 平成16年7月5日~9日 シンガポール
- ・Comparison of Three FG5 Absolute Gravimeters at Wuhan, China (中国武漢における3台の絶対重力計 FG5 の比較): 檜山洋平・平岡喜文・木村勲・中川弘之・竹本修三(京都大学)・福田洋一(京都大学)・東敏博(京都大学)

VLBI 次世代相関器ワークショップ 平成16年8月9,10日 情報通信研究機構鹿島宇宙通信研究センター(茨城県鹿嶋市)

- ・測地 VLBI 将来観測計画と相関処理要求: 町田守人・石本正芳・高島和宏
- 第24回南極地学シンポジウム 平成16年10月14日~15日 国立極地研究所
- ・ラングホプデ GPS 固定点による露岩域変動測定( ): 平岡喜文・木村勲・湯通堂亨・雨貝知美
- ・FG5 絶対重力計による昭和基地の絶対重力測定: 平岡喜文・福田洋一(京都大学)・土井浩一郎(極地研)・澁谷和雄(極地研)・木村勲

日本測地学会第102回講演会 平成16年10月27日~29日 国土交通大学校(東京都小平市)

- ・セミ・ダイナミック測地系の考え方: 辻宏道
- ・セミ・ダイナミック測地系における変動モデルについて: 田中愛幸
- ・昭和基地で行われた南極 VLBI 実験の解析結果(その2): 福崎順洋
- ・昭和基地における重力変化: 平岡喜文
- ・eVLBI 観測による UT 1 即時算出の事業化: 高島和宏
- ・K5 システムによる国内 VLBI 観測の処理結果について: 石本正芳
- ・JERS-1 干渉 SAR による小空間スケール地表変位の検出 - 干渉 SAR 画像に埋もれた宝を掘り出す - : 藤原

## 智

第11回 IAGA 地磁気観測国際ワークショップ 平成16年11月9日~17日 文部科学省研究交流センター(つくば市)

- ・ Geomagnetic survey by Geographical Survey Institute in Japan (国土地理院の地磁気測量): 白井宏樹・鈴木啓
  - ・ Three Components (X,Y,Z) Regional Model of Geomagnetic Field in Japan with the Continuous Observation Data (連続観測データによる日本域の地磁気三成分(X,Y,Z)モデルの構築): 紀小麗・白井宏樹・鈴木啓・何金蘭
- 2004年米国地球物理学連合秋季大会 平成16年12月13日~17日 米国 サンフランシスコ
- ・ 現実的な地球モデルにおけるポストサイズミックな変動について: 田中愛幸
- 2004年度 VLBI シンポジウム 平成16年12月22日~24日 宇宙航空研究開発機構相模原キャンパス
- ・ 日独共同 eVLBI による UT1 決定観測: 高島和宏・町田守人・藤咲淳一・石本正芳・栗原忍
  - ・ 機関報告: 国土地理院における測地 VLBI: 高島和宏・石本正芳・町田守人・藤咲淳一・栗原忍
- SAR Workshop2004 平成17年1月11,12日 宇宙航空研究開発機構 地球観測利用推進センター
- ・ 1枚の干渉 SAR 画像からどれだけのことがわかったか - 兵庫県南部地震10周年 - : 藤原智・飛田幹男 (地理地殻活動研究センター)

## [ 測図部 ]

第33回国土地理院技術研究発表会 平成16年6月3日 新宿安田生命ホール(東京都新宿区)

- ・ 地形図のリアルタイムデータベースの整備: 下山泰志
- 国際写真測量リモートセンシング学会第20回大会( ISPRS(International Society for Photogrammetry and Remote Sensing XXth Congress) ) 平成16年7月12日~23日 トルコ イスタンブール
- ・ Evaluation of DSM Generated from QuickBird Stereo Imagery (QuickBird ステレオ画像から得られる DSM の評価): 中村孝之・大木章一・野口真弓・下野隆洋
- 日本写真測量学会平成16年度秋季学術講演会 平成16年10月28,29日 弘前商工会議所会館(青森県弘前市)
- ・ 局所地形モデル法による地形図ベクトルデータからの標高算出プログラムの考案: 浦部ぼくろう・柴田光博・大木章一
  - ・ QuickBird 衛星画像から作成した DSM 及びオルソ画像の評価: 中村孝之・下野隆洋・大木章一
  - ・ SPOT-5 衛星画像の水平位置精度評価: 下野隆洋・中村孝之・大木章一
  - ・ 事務用スキャナの精度検証: 笹川啓・中村孝之・下野隆洋・大木章一
  - ・ 車載型 DGPS による地形図更新手法の検討: 津留宏介(日本測量調査技術協会)・大木章一・登坂昇(北陸地方測量部)・須崎哲典(北陸地方測量部)
  - ・ 空中写真測量用スキャナーの幾何精度と再現性: 内田修(日本測量調査技術協会)・大木章一・登坂昇(北陸地方測量部)・須崎哲典(北陸地方測量部)
  - ・ 数値写真を用いた空中三角測量の検討: 成瀬弘晃(日本測量調査技術協会)・大木章一・登坂昇(北陸地方測量部)・須崎哲典(北陸地方測量部)

## [ 地理調査部 ]

地球惑星科学関連学会2004年合同大会 平成16年5月9日~13日 幕張メッセ国際会議場(千葉市)

- ・富山平野神通川流域における火山泥流堆積物の起源：小石容代・大井信三（地理地殻活動研究センター）  
第33回国土地理院技術研究発表会 平成16年6月3日 新宿安田生命ホール（東京都新宿区）
- ・地球地図 - 地球環境の新たなメディアを目指して - ：中島秀敏  
第51回日本生態学会大会 平成16年8月25日～29日 釧路市観光国際交流センター（北海道釧路市）
- ・日本にはどのくらい湿地があったのか？ - 明治・大正時代と現在の湿地面積の比較 - ：中島秀敏  
平成16年度国土交通省国土技術研究会 平成16年11月16日 品川TOC（東京都品川区）
- ・美しい国土の発見と再生に向けた総合地域誌の設計について：綿引多美子  
第4回デジタルアース国際シンポジウム 平成17年3月28日～31日 六本木ヒルズ（東京都港区）
- ・Development of Global Digital Geographic Framework -Global Mapping Project- ：岡谷隆基・丸山弘通・佐々木久和・岩瀬三夫・蒲田真理子・榎場新一・岸本紀子

#### [ 地理情報部 ]

- 第33回国土地理院技術研究発表会 平成16年6月3日 新宿安田生命ホール（東京都新宿区）
- ・地理情報 提供から共有へ そして発信へ：久保紀重  
日本国際地図学会平成16年度定期大会 平成16年7月21,22日 日本大学文理学部百年記念会館（東京都世田谷区）
- ・電子申請用添付地図作成支援・確認サービスの開発及び提供：高桑紀之・島田久嗣  
平成16年度国土交通省国土技術研究会 平成16年11月16日 品川TOC（東京都品川区）
- ・電子国土webシステムの開発：安部雅俊  
機能図形情報システムワークショップ2004 平成16年11月20,21日 せせらぎの湯宿 満寿家（栃木県那須郡塩原町）
- ・新潟県中越地震に対する国土地理院の対応：飯村威

#### [ 測地観測センター ]

- 地球惑星科学関連学会2004年合同大会 平成16年5月9日～13日 幕張メッセ国際会議場（千葉市）
- ・新GEONETシステムのルーチン解の精度評価：畑中雄樹・山際敦史・湯通堂亨・宮原伐折羅
- ・電子基準点の高さの見直しについて：宮原伐折羅・畑中雄樹・湯通堂亨・千田進一・雨貝知美・岩田昭雄  
第33回国土地理院技術研究発表会 平成16年6月3日 新宿安田生命ホール（東京都新宿区）
- ・電子基準点 いつでも、どこでも使える位置情報：佐々木正博  
日本測地学会第102回講演会 平成16年10月27日～29日 国土交通大学校（東京都小平市）
- ・GEONET以前のGPS連続観測網データの再解析：畑中雄樹
- ・GEONETのルーチン解に見られるスケールの年周変化の再検討：畑中雄樹
- ・電子基準点の高さの見直しについて（その2）：湯通堂亨  
日本地理学会2005年度春季学術大会 平成17年3月28日～30日 青山学院大学青山キャンパス（東京都渋谷区）
- ・新潟県中越地震をはじめとする最近の地震災害と地震の評価・対策の課題：熊木洋太

#### [ 地理地殻活動研究センター ]

Chandler Wobble Workshop 平成16年4月21日～23日 ルクセンブルク

- ・ Seasonal and Non-Seasonal AAM Functions Calculated from Different Reanalysis Data Sets : 眞崎良光・青山雄一(京都大学)・内藤勲夫(国立天文台)  
日本地形学連合 2004 年度春季学術大会 平成 16 年 4 月 24 ,25 日 早稲田大学西早稲田キャンパス(東京都新宿区)
- ・ 数値等高線データを用いた谷線の抽出: 水越博子・安仁屋政武(筑波大学)
- ・ 火山活動終了後の雲仙普賢岳・水無川流域のガリ地形変化とモデル計算: 佐藤浩・中島達也(アジア航測)・福住真仁(同)・上妻由拓(同)
- ・ DEM から作成した自動地形分類図と土地条件図・地質図の定量比較: 岩橋純子  
地球惑星科学関連学会 2004 年合同大会 平成 16 年 5 月 9 日~13 日 幕張メッセ国際会議場(千葉市)
- ・ 関東地震(1923)および南海地震(1946)前後の半島地殻変動の特徴: 田島 稔(中央工学校)・今給黎哲郎・大滝三夫
- ・ 国立天文台 V E R A 小笠原観測局におけるコロケーション作業: 眞崎良光・松坂茂・佐々木與四夫・柴原充・堤隆司・宮本純一・田村良明(国立天文台)・堀合幸次(国立天文台)・亀谷收(国立天文台)
- ・ NCEP 再解析データに基づく大気角運動量関数の評価: 眞崎良光・青山雄一(京都大学)・内藤勲夫(国立天文台)
- ・ 東海地方の遷移的地殻変動の最近の状況: 小沢慎三郎
- ・ 関東地震(1923)および南海地震(1946)前後の半島地殻変動の特徴: 田島稔(中央工学校)・今給黎哲郎・大滝三夫(測地部)
- ・ 御前崎地域水準測量にみられる年周変動(第三報): 今給黎哲郎
- ・ GPS と水準データを用いた関東・伊豆地方のブロック断層モデル: 西村卓也・鷲谷威(名古屋大学)
- ・ 衛星重力観測による長波長重力場の決定 - 序報: 黒石裕樹・宗包浩志
- ・ 最近の静岡県内の国道 1 号に沿った上下変動: 海津優・根本悟
- ・ 非潮汐性海洋質量による荷重変形の補正法(2): 宗包浩志・松坂茂
- ・ 夏に大雨が降るとつくばが隆起する - 自然と人為の微妙な関係 - : 飛田幹男・宗包浩志・松坂茂
- ・ GPS 連続観測による富士山周辺の地殻変動: 村上亮
- ・ GPS 観測により捉えられた硫黄島の地殻変動: 矢来博司・村上亮・小澤拓・飛田幹男  
日本地すべり学会関西支部シンポジウム 平成 16 年 5 月 28 日 大阪科学技術センター(大阪市西区)
- ・ 標高データ(DEM)を利用した第三紀地層すべりの地形解析: 岩橋純子  
第 33 回国土地理院技術研究発表会 平成 16 年 6 月 3 日 新宿安田生命ホール(東京都新宿区)
- ・ 2003 年十勝沖地震後の地殻変動とプレート間滑り: 小沢慎三郎  
日本写真測量学会平成 16 年度年次学術講演会 平成 16 年 6 月 17 日~18 日 東京ビックサイト(東京都江東区)
- ・ 無線 LAN と GPS による屋内外のシームレス測位: 神谷泉・小白井亮一・増田亮太(日立製作所)・清野憲二(日立産機システム)・神田秀彦(日立産機システム)・羽場純(日立産機システム)
- ・ 無線 LAN を使用した屋内測位: 神谷泉・小白井亮一・増田亮太(日立製作所)・清野憲二(日立産機システム)・神田秀彦(日立産機システム)・羽場純(日立産機システム)
- ・ LIDAR 反射強度による土地被覆分類の可能性: 長谷川裕之・神谷泉・小白井亮一・都竹正志(中日本航空)・小美博規(中日本航空)  
ISPRS(International Society for Photogrammetry and Remote Sensing) 平成 16 年 7 月 12 日~7 月

23日 トルコ イスタンブール

- A semi automatic road extraction method for alos satellite imagery : 長谷川裕之
- Estimation on tree cover percentage using TERRA/ASTER data with airborne laser scanning data : 佐藤浩・建石隆太郎 (千葉大学)  
日本国際地図学会平成16年度定期大会 平成16年7月21,22日 日本大学文理学部百年記念会館(東京都世田谷区)
- 三宅島における地形変化について : 長谷川裕之・佐藤浩・岩崎純子  
IAG (国際測地学協会) GGSM2004 (重力・ジオイド・衛星計測シンポジウム) 平成16年8月30日~9月3日 ポルトガル ポルト
- A New Gravimetric Geoid Model for Japan, JGE01D2004 : 黒石裕樹  
平成16年度日本地すべり学会第43回研究発表会 平成16年9月1,2日 秋田市
- 干渉 SAR 解析による火山地域における地すべりの検出 : 矢来博司・大井信三・関口辰夫・飛田幹男・藤原智 (測地部)  
日本地理学会2004年度秋季学術大会 平成16年9月24日~28日 広島大学東広島キャンパス (東広島市)
- ニューラルネットワークと最尤法分類を用いた斜面崩壊の危険度評価 : 佐藤浩・関口辰夫・神谷泉・高村利峰 (国際航業)  
日本地震学会2004年秋季大会 平成16年10月9日~11日 九州大学箱崎キャンパス文科系講義施設および国際ホール (福岡市東区)
- 東海スロースリップイベントと新潟神戸収束帯の位置関係 : 海津優
- 北海道東部におけるプレート間相互作用領域の深さの下限と地震サイクルを通じての歪収支 : 村上亮・小沢慎三郎
- 八重山諸島南方沖で繰り返し発生するスロースリップイベント : 矢来博司・西村卓也・宗包浩志
- 2003年十勝沖地震直前の地殻変動・地下水とプレート境界すべりの検知能力 : 西村卓也・秋田藤夫 (北海道立地質研究所)・廣瀬仁 (防災科学技術研究所)・松本則夫 (産業総合研究所)・宗包浩志
- 1964年アラスカ地震の余効変動モデル : 粘性緩和と余効すべり : 水藤尚・Jeffrey T.Frey Mueller (アラスカ大学)
- GPSによって観測された2003年十勝沖地震の余効変動 : 小沢慎三郎・村上亮・海津優・今給黎哲郎・畑中雄樹 (測地観測センター)  
天然資源の開発利用に関する日米会議(UJNR)地震調査専門部会第5回合同部会 平成16年10月12日~16日 米国 モントレー
- Conventionally detected crustal deformation in Tokai region : 海津優
- A study on seasonal variation of leveling data in Omaezaki region : 今給黎哲郎
- Current state of transient crustal deformation in the Tokai region, central Japan : 小沢慎三郎  
日本火山学会2004年秋季大会 平成16年10月9日~11日 静岡県地震防災センター (静岡市)
- GPSによる富士山周辺の歪速度分布 : 村上亮
- 阿蘇カルデラの上下変動 : 村上亮
- JERS-1/SAR データの干渉解析で捉えられた北海道駒ヶ岳の地殻変動 : 矢来博司・村上亮・藤原智 (測地部)・宗包浩志・飛田幹男
- GPSが捉えた浅間火山2004年9月噴火前のマグマ移動 : 村上亮

- ・航空機 SAR で捉えられた浅間山火口底のマグマ：大木章一（測図部）・矢来博司・村上亮・宮脇正典（日本電気航空宇宙システム）  
日本測地学会第 102 回講演会 平成 16 年 10 月 27 日～29 日 国土交通大学校（東京都小平市）
- ・国立天文台 VERA 小笠原観測局におけるコロケーション作業（2）測量解析結果の報告：眞崎良光
- ・次世代衛星測位シミュレータ（その 1） - 概要 - ：宗包浩志
- ・国土地理院による VLBI-GPS コロケーション - まとめと展望 - ：松坂茂
- ・屋久島における重力ジオイド改良モデルの決定：黒石裕樹
- ・北アルプス穂高岳での GPS 観測 - 飛騨山脈の隆起運動の測地学的検証 - ：西村卓也
- ・東海地方の地殻変動：海津優
- ・御前崎地域水準測量に見られる年周変動（第 4 報）：今給黎哲郎
- ・関東地震（1923）および南海地震（1946）前後の半島地殻変動の特徴（第 2 報）：田島捻（中央工学校）・今給黎哲郎
- ・八重山諸島南方沖で繰り返し発生するスローリップイベント：矢来博司
- ・阿蘇カルデラの上下変動 - 長期的沈降と間歇的隆起 - ：村上亮
- ・干渉 SAR 解析による火山地域における地すべり変位の検出：矢来博司
- ・SAR データと GPS データの融合の試み ：飛田幹男
- ・JERS-1/InSAR を用いて検出された 1995 年兵庫県南部地震後の余効変動とその時間変化：小沢拓（防災科学技術研究所）・矢来博司・飛田幹男  
日本写真測量学会平成 16 年度秋季学術講演会 平成 16 年 10 月 28, 29 日 弘前商工会議所会館（青森県弘前市）
- ・ALOS PRISM 画像の標準プログラムの作成について：神谷泉  
第 2 回 VERA ユーザーズミーティング 平成 16 年 11 月 8, 9 日 国立天文台（東京都三鷹市）
- ・VERA 小笠原観測局におけるコロケーション観測作業と解析結果の報告：眞崎良光  
平成 16 年新潟県中越地震による斜面災害緊急シンポジウム 平成 16 年 12 月 7 日 東京大学地震研究所（東京都文京区）
- ・斜面災害発生分布と地質・地形・震源の重ね合わせ：佐藤浩・関口辰夫・小白井亮一・鈴木義宜（地理調査部）・飯田誠（地理調査部）  
AGU 2004 Fall Meeting 平成 16 年 12 月 13 日～17 日 米国 サンフランシスコ
- ・Crustal block kinematics of the Kanto and the Izu regions, central Japan estimated from GPS and leveling data（GPS と水準測量データから推定した、関東・伊豆地方の地殻ブロック運動）：西村卓也・鷲谷威（名古屋大学大学院）  
平成 16 年新潟県中越地震被害調査報告会 平成 16 年 12 月 21 日 建築会館ホール（東京都港区）
- ・地殻変動観測からみた新潟県中越地震と周辺のテクトニクス：今給黎哲郎  
第 4 回斜面災害危険度軽減と文化・自然遺産保護に関する国際シンポジウム 平成 17 年 1 月 15, 16 日 京都大学時計台百周年記念館（京都市左京区）
- ・The relationship between landslide distribution and the superposition of geology, geomorphology, and hypocenter（斜面災害発生分布と地質・地形・震源の重ね合わせ）：佐藤浩・関口辰夫・小白井亮一・鈴木義宜（地理調査部）・飯田誠（地理調査部）・杉山正憲（地理調査部）  
第 2 3 回測量技術講演会 平成 17 年 1 月 27 日 兵庫県民会館（神戸市中央区）
- ・近畿地方の地殻変動：今給黎哲郎

- 第4回つくばテクノロジー・ショーケース 平成17年1月31日 つくば国際会議場(つくば市)
- ・スマトラ沖地震による地殻変動と周辺のテクトニクス：今給黎哲郎
  - ・レーザー光で観たつくば市中心部の土地利用：長谷川裕之  
平成16年度国土交通先端技術フォーラム 平成17年2月14日 デザインホール(名古屋市)
  - ・国土地理院による地震防災関連の活動：海津優  
京都大学防災研究所平成16年度研究発表講演会 平成17年2月21,22日 京都大学防災研究所(京都府宇治市)
  - ・斜面崩壊発生分布と地質・地形・震源の重ね合わせ：佐藤浩・関口辰夫・小白井亮一・鈴木義宜(地理調査部)・飯田誠(地理調査部)  
日印津波ワークショップ 平成17年3月18,19日 インド ハイデラバード
  - ・GPS連続観測によって捉えられた余効変動 - 2003年十勝沖地震の場合：今給黎哲郎
  - ・DAPHNE プロジェクト アジア・太平洋・インド洋地域における国際地震・火山観測網の構築：今給黎 哲郎
  - ・標高データと地形データによる津波の遡上の検討：関口辰夫  
日本地理学会2005年度春季学術大会 平成17年3月28,30日 青山学院大学青山キャンパス(東京都渋谷区)
  - ・新潟県中越地震の斜面崩壊分布と震源・地質・地形の重ね合わせ：佐藤浩・関口辰夫・小白井亮一・鈴木義宜(地理調査部)・飯田誠(地理調査部)
  - ・2004年新潟県中越地震による斜面崩壊の特徴：関口辰夫・佐藤浩・小白井亮一・鈴木義宜(地理調査部)・飯田誠(地理調査部)
  - ・地理情報をどのように緊急提供したか：宇根寛(地理情報部)・佐藤浩
  - ・白神山地泊の平における地形と植生の関係：佐藤浩・関口辰夫・牧田肇(弘前大学)・八木浩司(山形大学)・加藤悟(中日本航空)

[ 水沢測地観測所 ]

- 地球惑星科学関連学会2004年合同大会 平成16年5月9日~13日 幕張メッセ国際会議場(千葉市)
- ・新しい広帯域MT固定連続観測装置による地殻活動監視システムの改良：菅原安宏  
第11回 IAGA 地磁気観測国際ワークショップ 平成16年11月9日~17日 文部科学省研究交流センター(つくば市)
  - ・Preliminary Observation of Geomagnetic Field using dIdD Magnetometer (dIdD 磁力計による地磁気試験観測)：菅原安宏

発表学会名、発表日、発表場所、発表課題名、発表者の順に掲載